

第20号

○発行年月日
平成24年8月10日
○発行
社会福祉法人
安房広域福祉会
〒294-0231
千葉県館山市中里288-1
☎0470-28-2422
FAX 0470-28-2424

にじのかけはし



フリーマーケット

天気の良い日
フリーマーケットにいきました
自分で描いた絵
自分で編んだ帽子
自分で作った椅子、アクセサリー…
ここは自分で作った手づくり品を
自分で売るバザールなのです
作り手と買い手の顔がじかに見える
だから、会話が弾む
大量生産
利益優先の商売とは無縁の
深いコミュニケーション
自由な発想がそこにあります
花畑と山が見える小さな絵を
ひとつ買い
部屋に飾りました

ケアホーム
平砂浦

財団法人JKAオートレース公益資金補助事業

『ケアホーム平砂浦』オープン！

支援課長 近藤 大介

平成23年度オートレース公益資金による補助事業を受け、障害者グループホームの建築整備事業を実施し、平成24年4月18日に「ケアホーム平砂浦」が完成いたしました。

施設を入所・通所でご利用している方々のほか、地域で生活されている方々など新たな生活の場として、6月からケアホームのご利用がスタートしました。

「ケアホーム平砂浦」はグループホーム・ケアホーム一体型として様々なニーズをお持ちの方がご利用しています。そのうち就職されている方が4名、施設をご利用されている方が4名と生活のリズムが異なりますが、皆さん協力をして生活をされています。職

員とともに食事を作ったり、皆で地域の草刈に参加したり充実した生活を過ごしています。

まだオープンしたてのケアホームですが、今後利用されている方々の意見を参考に地域に密着した楽しいケアホームにしていきたいと思っております。よろしくお願いたします。



▲「ただいま」食材の買い出しに行ってきました



▲好きな具を巻いて巻いて『手巻き寿司』♪



▲『お好み焼き』焼けてきたかな？



オートレース補助事業

完了のお知らせ

この度平成23年度のオートレースの補助金を受けて、左記の事業を完了いたしました。

記

- 一 事業名 平成23年度障害者グループホームの建築整備
- 一 事業の内容 障害者グループホームの建築 一棟
- 一 補助金額 二一、七二四、〇〇〇円
- 一 実施場所 千葉県館山市犬石 1678番地167
- 一 完了年月日 平成24年4月18日

社会福祉法人安房広域福祉会

理事長 宮崎 健一



▲ケアホーム平砂浦

こすもす

新しい年度を迎えて

児童デイセンター所長

押元 昇

今年の春は昨年とは少し感じの違う(前向き?)春となっている方が多いと思います。

「こすもす」では、今年の春はいつもとは違う春の到来となり、昨年までの自立支援法から児童福祉法への移行に伴いサービスの名称(児童サービスI、II型から児童発達支援、放課後等デイサービス)や方法(通所利用計画書の作成等)等々の変更により新たに事業の申請や書類等の変更が日々追われている今日このごろです。

また、3月に学校の卒業を機に数名の子が「こすもす」を巣立ち、そして4月の入学を機に数名の元気な子が新たに仲間入りしました。みんな元気に過ごす毎日です。また、巣立った子達もいつか会った時は、成長し元気に地域で暮らしている姿にお会いできる日を楽しみにしています。



こすもす

1月の春のびきびん

支援員 家守 亜矢

平成24年、春。この春のこすもすの様子を紹介致します。

1月、新春すもす大会開催。といっても、未就学クラスと放課後クラスで1回ずつでしたが、総あたり戦で大奮闘でした。取り組みによっては職員も負ける力強い力士が登場しました。

2月、春を探しに散歩。こすもすの近所の方々とふれあひもありました。

3月、ひなまつり食事会。メニューは、クレープと焼きそばを作り、皆で会食。できたての焼きそばはおいしくて、沢山食べました。



▲散歩「春を感じながら」

未就学クラスでは、サーキットトレーニングを行いました。こすもすに通い始めた頃は、難しかった運動も、3月になると、できる運動が増えてきます。特に、トンネルくぐりは、できるお子様が増えました。今ではトンネルの中が居るのちが良いのか、入ると、くつろぎ始め、なかなか出てこないお子様もいます。



▲天使?の羽 上手でしょ?

春休み中は、制作がブームでした。女の子達はお面と背中中の羽作りをして、作ったものを一日中身につけて過ごしました。そのまま家に帰るお子様もいて、ご家族のお話だと、そのまま帰り道にお店で買った物もしたエピソードもありました。

男の子は仮面ライダーのお面とベルト作りでした。しかも現代のライダーではなく、1970年代に流行ったライダー達がモデルです。こすもすにライダー百科(?)があり、それを見て作りました。いつの時代も男の子のヒーローってライダーなのでしょっか。

4月、新学期を迎え、こすもすでも出会いと別れがありました。新たな生活をスタートさせた、こすもすOBのお子様達を、いつまでも

応援し、新たにこすもすの利用を始めたお子様の支援に取り組みます。未就学クラスでこいのぼりを制作しました。こすもすフロアーの天井にかざられています。力強く、たくましいこいのぼり。毎年、春はお子様方の成長を感じます。こいのぼりのように、たくましく元気あふれる、こすもすの春でした。



▲天井のこいのぼり



▲変身— !!

ワークス 館山

那古寺に避難

支援員 藤波 重昭

昨年起こった大震災のときは、作業所前の庭に出て大きな揺れが収まるのを待ち、それから利用者を各自宅まで送る、帰すなどの対応をしました。しかし、その後明らかになった大津波による甚大な被害を見るにつけ、高台への避難がいかに命を守る上で重要か、痛感します。

作業所の地盤は海拔3.3メートルで、周辺も低地が続いており、短時間に避難できる高台はありません。いろいろな条件を検討した結果、津波の心配があるときには那古寺に避難することとし、4月10日に訓練を行いました。徒歩による避難と自転車による避難の2班に分かれ、作業所から那古寺観音堂前の高台までの所要時間を計ったところ、自転車班は20分、徒歩班は

30分かかりました。東北大震災時の津波の最大波の到達時刻は地震発生後おおむね30〜40分といわれています。ただし、震源地からの距離によっては到達時間が早まることも予想され、防災計画について今後、よりいっそう考えていかなければなりません。



植樹の桜で

花見

支援員 藤波 重昭

4月12日に花見の会を催し、桜を見ながらお弁当を食べました。例年、那古寺や城山公園など桜の名所に出かけているのですが、今年は作業所前の庭に咲く桜の花を囲ん



▲今年は作業所前で花見弁当

で昼食を食べました。この桜は7年前にジャスコ館山店(現イオン)のみなさんと一緒に植樹したものです。木はまだ小さいですけど今年はいままでになくたくさん花を咲かせ、とてもきれいでした。ペンの組立作業で忙しい時もありますが、そんな中で穏やかな春のひとときを過ごしました。

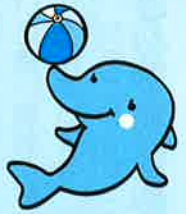
中里の家

「絆」

次長 江部 純子

障害者自立支援法に基づく新事業体系に移行してから半年が経ちました。大きな変革としては、夜勤体制が導入され、より皆様に安心して過ごして頂ける環境を整備する事ができました。今後も、ご利用されている皆様が快適な暮らしが送れるようサポートしてまいりたいと思っております。さて、昨年の世相を表す漢字は「絆」でした。大地震により沢山の被害を受けましたが、お互いが助け合う気持ちを再確認できた事はかけがえのない財産であると感じています。社会が目まぐるしく変化している今日、他人を思いやる気持ちや困っている人を助けようと思う気持ちを常に意識していける人間になりたいと思います。「絆」とは人と人との結びつきを意味します。利用者やご家族の皆様との絆を大切にし、信頼して頂ける支援の確立を目指していきたいと思えます。今年度も「自他相愛」の精神で親切丁寧な対応を心がけていきます。よりよい施設づくりの為、沢山の御意見、ご要望もお待ちしております。

中里の家



慰労会外出

鴨川シーワールド

支援員 小池 雄吾

3月14日に稼働班慰労会外出として、鴨川シーワールドへ行きました。初めて鴨川シーワールドへ行くという利用者さんもあり、とても楽しみにしながら当日を迎えました。

午前中は様々な海の生物を見学しました。普段、あまり目にすることがない為、興味深々といった様子でした。昼食はシーワールドホテルでのバイキングでした。外での食事は利用者さんとても楽しみにしており、好きな食事を自分で皿に盛り、笑顔で満足そうに食べていました。午後には主にシヨアの見学がメインでした。ダイナミックなシヤ

チのシヨアから、笑うアシカのシヨアなど珍しいパフォーマンスに拍手と笑顔で、とても楽しんでいました。特に最後に見学したイルカのシヨアでは、イルカのジャンプの高さに利用者さんから歓声が上がっていました。帰りのバスの車内でも、「イルカのシヨアが良かった」という話も聞かれます。良い思い出になったと思います。一年の終わりの外出として今後も継続して計画していきたいと思っています。



▲お腹もいっぱい!!



▲満足!! 鴨川シーワールド



▲シヤチのシヨア 皆くぎづけ。

中里の家

バーベキュー

支援員 小林 理恵

5月5日、初夏を感じさせるかのような天候に恵まれ、中里の家ではゴールデンウィーク中の余暇として「バーベキュー」を行いました。中庭にて、ピクニックテーブルを広げ、大きな鉄板で焼きそばや焼き肉を利用者の方と共に作りました。(最高の味!?)

また、カットフルーツ(いちご・バナナ・パイナップル・オレンジ)やジュースもありました。アウトドア的な雰囲気も味わい、お腹も満たされ、とても楽しく一日過ごすことができました。



▲食べられるかな?



▲おいしくできるかな?

中里の家
ワークホーム

施設班 合同作業

支援員 大岩 真人

中里の家・ワークホームでは、ヤシマ千葉工場様より、車のバッテリーキャップ組み立て、干倉化成様より薬品入れキャップの検品作業をいただいています。4月から中里の家・ワークホーム合同で作業を始めております。これは組立て・検品作業ともに開始当初より力がついており、今後、より効率のある作業を目指そうとの考えからです。

作業場所はワークホーム多目的ホールです。※40名程の太所帯となり、まずはお互いの顔と名前を覚えようとネームプレートを作成して活用しています。

バッテリーキャップは2班に分け、ゴム付け、検品、キャップ付け、検品の流れで行っています。

中里の家では検品作業は、職員のみで行っていましたが、これを機会に利用者さんもチャレンジしています。

両施設の利用者さん共に、新しい環境でお互いに良い刺激となり、真剣な表情で取り組んでいます。部品を運び合ったり、欠品が見つかったも優しく声をかけ合う姿も見られます。また、

休憩時間には談笑する姿もあります。今後、新たな課題も出てくると考えられますが、安全な部品を確実に納められるよう、利用者・職員ともに努めてまいりたいと思います。



▲「薬品入れキャップ」の検品作業



▲お互いに協力し合いながら

ふれあいショップ
平砂浦

完売御礼 『あさがお市』

支援員 高橋 真樹

7月9日、今年で7回目を迎えた『あさがお市』を開催しました。

毎年、中里の家「農園班」が栽培したあさがおを販売しています。4月の種まきから毎日水やりや支柱につるを巻く作業など丹精を込めて育ててきました。

あさがお市の当日は、開店時間前から多くのお客様にお越しいただき、また栽培してきた約100鉢全てのあさがおを完売することができました。ありがとうございました。

あさがお市を終え、農園班の利用者さんが嬉しそうに「また来年も頑張ろう」と話していました。また来年もお楽しみに…



▲丹精込めて



▲どれにしようかな？



わなぐんぐんした日々

支援員 大出 貴博

4月24日から5月6日までの約2週間かけて田植えが行われました。天候の関係で予定より少し遅くなりましたが、無事に終了する事ができました。

今回から助成金で購入させて頂いた新しい田植機「さなえ」が大活躍。初めは操作に慣れていないため、悪戦苦闘していましたが、慣れてくると、スムーズに植付けする事ができました。機械化が進む中でも、肥料や苗の補充はやはり手作業。利用者の方々とそれぞれ作業を分担して効率良く進める事ができました。暑い中行った田植えを通して、改めてみんな一緒に頑張って作業する素晴らしさを実



▲「さなえ」と頑張っています



感する事ができました。秋になれば収穫でまた忙しくなりますが、みんなで協力して、みんなで喜びを分かち合える事を今から楽しみにしています。



▲苗の補充中!!



▲秋の収穫が楽しみです

新職員紹介

支援員 馬目 佳輔

初めまして。4月から新しく支援員として入りました。これまで福祉の仕事経験はありません。まだまだ勉強しなければいけないことがたくさんありますが、精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

支援員 平嶋 洸介

4月から中里の家に勤務させて頂くことになりました。軽作業班に所属して作業を行っています。利用者の方々と積極的にコミュニケーションを取って良好な関係が築けるように努力していきたいです。

支援員 山下 和博

4月1日付で、中里の家の生活班で、仕事をさせて頂いています。3月まで、亀田総合病院で看護補助の仕事をしていました。病院で、たくさんを経験し勉強させていただいたので、同期のみんなと助けあって、楽しい職場にしていきたいです。

支援員 水島 健介

本年度から中里の家で勤務させて頂いたことになりました。趣味は散歩と釣りです。まだまだ覚えることは沢山ありますが、先輩職員の方々を見習って、早く一人前になれるよう頑張りたいです。よろしくお願ひします。



支援員
飯田 麻衣子



初めまして。4月より中里の家の支援員として勤務させて頂いています。利用者の皆さんがいとも笑顔で、安心して過ごせるよう支援していきたいと思っています。皆さんと色々な事を感じながら楽しく過ごしたいです。よろしくお願ひ致します。

支援員
大橋 美裕紀



4月から支援員として働くことになりました。わからないことがたくさんありますが早く利用者の方の名前と仕事内容を覚え、利用者の方合った支援ができるよう頑張ります。よろしくお願ひします。

支援員
鈴木 大樹



館山に来て6年位になりますが、館山の生活は、季節は温暖で大変良い所です。まだわからない事ばかりですが、よろしくお願ひします。

支援員
小宮 八重子



初めまして、3月から中里の家に勤務しています。利用者の皆さんと楽しくふれあいを大切に、そして笑顔でいられる様に努めていきたいと思っています。今後もよろしくお願ひします。ちなみに美味物大好きです。素敵なお店がありましたら一報を。

調理員
安田 雅宏



4月からお世話になっていきます。事故の無い様に安全第一で頑張ります。未経験の業種ゆえに迷惑ばかりかけてしまっている現状ですが、一日も早く戦力として活躍できる様日々精進していくつもりです。よろしくお願ひ致します。

支援員
小高 夏美



4月から中里ワークホームに配属となりました。短大の時に実習をさせて頂き、障がい者の方とも関わってみたいなという気持ちになったのがきっかけでした。未熟者なのでいろいろとご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、ご指導のほどよろしくお願ひ致します。

支援員
大出 貴博



はじめまして。3月より中里ワークホームの農産加工班で勤務させて頂いています。農作業は未体験でしたが、利用者の方の皆様のお陰で少しずつ慣れてきました。農作業を通して季節を感じながら、皆様と収穫の喜びを味わえるよう、毎日楽しく仕事ができればと考えています。よろしくお願ひ致します。

安房広域福祉会
評議員の就退任

■退任 武田 博之
(平成24年5月31日退任)

■就任 西川 隆
(任期平成24年6月1日～平成25年5月31日)

ボランティアのお知らせ

中里の家・中里ワークホームこすもすでは、随時ボランティアを募集しています。作業など一緒に参加して下さい。心よりお待ちしております。まずはお電話にてお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先・連絡先

■中里の家 館山市中里 288-1 ☎0470 (28) 2022 ☎0470 (28) 2023 nakazato-ie@minos.ocn.ne.jp

■中里ワークホーム 館山市中里 291 ☎0470 (28) 2422 ☎0470 (28) 2424 nakazato-workhome@m2.dion.ne.jp

HPURL <http://www.nakazato.or.jp/>

編集後記

梅雨が明け、いよいよ夏本番。暑さが増してきた今日この頃、皆様はいかがお過ごしでしょうか。この「にじのかけはし」は皆様との心の架け橋。新メンバーの編集委員で不慣れではありますが、分かりやすい内容でお届けできるよう頑張ります。よろしくお願ひいたします。

●中里の家担当/小林・大岩・田村(英)・大橋(隆)・馬目・大野・小宮
●中里ワークホーム担当/高橋(真)・川上・高橋(麻)・榎本・小高